

道徳 - 4 (第4学年) 書く活動を通して児童こねらいとする道徳的価値にかかわる自分自身の考えをもたせた事例
【学習活動の概要】

1	主題名 社会のルールを守る (公德心)	
2	資料名 雨のバス停留所で 文部省 小学校道徳の指導資料とその利用 2	
3	<p>ねらいとする道徳的価値について</p> <p>社会生活を円滑に営むためには、社会で決められた規則や規範を守らなければならない。規則や規範は守らなければならないことはだれもが理解している。一方で、規則や規範を守ることがどのような意味をもち、なぜ守る必要があるのかという点について考える機会はずしも多くない。公共物や公共の場でどのような行動を取るべきなのかを考えさせ、社会の規則について理解し、それらを守る必要性について考えさせる必要がある。このように、社会における規則の意義について理解した上で、守るべきものとしてとらえ、行動していける心情を育てたい。</p>	
4	<p>資料</p> <p>雨が降りしきる中、順番を守って並んでいた主人公よし子は、バスが来たと同時に早く乗ろうと列から飛び出してしまふ。規則を守らなかったことを母親に注意され、自分の行動を振り返るところで資料は終わる。最後の母親の横顔を見ながら自分の行動を振り返るシーンは、よし子が規則を守らなかった自分について考えている場面である。この部分を中心に考えさせることで、なぜきまりは守らなければならないのかということについて多様な考え方や感じ方を引き出せると考えた。</p> <p>この場面で、規則の尊重についての理解の深化を図り、公共の場において自分はどのような行動をとるべきかを考えさせ、規則の必要性に気付き守っていこうとする心情を育てたい。</p>	
5	<p>本時の学習活動</p> <p>【ねらい】社会における規則について考え、守るべきものとして行動していこうとする心情を養う。</p>	
	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1. 学校のきまりについて発表する。 学校には、どのようなきまりがあるか。	身近なきまりを想起させ、規則について意識付ける。
展開	2. 「雨のバス停留所で」を読んで意見を発表し合う。 よし子はどのような気持ちでバスを待っていたか。 お母さんに肩を引かれ列に戻されたとき、よし子はどのような気持ちだったか。 「ほらごらんなさい。」と言うつもりでお母さんの顔を見たよし子はどのような気持ちだったか。 お母さんの横顔を見ながら自分のしたことを考えているよし子の心の中はどんなだったか。	規則を守ったことで自分の身に不利益を被ったときの感じ方や考え方を出させる。 規則を破ろうとした自分を振り返っているときの感じ方や考え方を出させる。 言語活動の充実 書く活動を通して、自分自身の考えをもたせる。発表し合う中で自分の感じ方や考え方を明確にさせる。
終末	3. これまでの自分を振り返る。 守らないといけないとわかっていながら規則を守れなかった経験があるか。そのときどのような気持ちだったか。	規則を守れなかった経験を発表し合い、自己とのかかわりで道徳的価値をとらえさせる。
	4. 教師の説話を聞く。	

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・道徳の第2内容の第3学年及び第4学年の「4 - 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」に関する事例である。本事例は、社会におけるきまりについて考え、守るべきものとして行動していこうとする心情を養うことをねらいとして、ワークシートに書く活動を通して児童に自分の考えをもたせるように工夫したものである。

【言語活動の充実の工夫】

本実践では、書く活動を通して児童に自分に考えをもたせる。書く活動は、児童が自ら考えを深めたり、整理したりする機会として、重要な役割をもつ。また、必要な時間を確保することで、児童は自分なりの取り組み方でじっくりと考えることができる。併せて、学習の中で個別化を図り、児童の感じ方や考え方をとらえ、個別指導を進める重要な機会にもなる。更に、一冊に綴じられたノートなどを活用することによって、児童の学習を継続的に深めていくことができ、心の成長の記録として活用することもできる。

児童が自分とのかかわりで主人公の追体験を行い、自分の感じたことや、考えたことを表現できるように、児童が自分の考えや思いを明確にとらえられるような問い返しなどの手立てを講じていく。

言語活動の実際（展開2 - の概要）

T1 黙ったままのお母さんの横顔を見ているよし子の心の中はどんなだったでしょう。これはワークシートに書いてもらいます。（児童が自分とのかかわりで考えられるように時間をとる。）

ワークシートに記述

T2 それでは発表してください。

ワークシートの記述を発表

C1 座りたい。わたしがお母さんの分まで席を取ってあげようと思ったのに。でも、わたしもよく考えたらずるをしてしまったから……。ごめんなさい

T3 なるほどね。

C2 何で外を見ているの。何も悪いことをした覚えはないのに。

T4 悪いことをした覚えがない。ほかにはどうでしょうか。

C3 お母さんは順番を守れと言いたかったのかな。でも、早く乗れば座れたのに。

T5 順番を守れと言いたかったのかな。なるほど。いろいろ違う意見が出てきましたね。ここに出てきていないものでどうでしょうか。

C4 何で知らん振りしているの。バスのきまりに気付いてほしかったのかな。

T6 バスのきまりとはどのようなことですか。

C5 並んでいる順番で乗ること。

T7 前の意見と似ていますね。ほかにはどうでしょう。

C6 お母さんがどうして黙っているかがわからない。

C7 考えてみれば、自分がお母さんと逆の立場だったら、顔に泥を塗られたようで恥ずかしいだろうな。今度バスに乗るときは気を付けよう。

C8 みんな我慢しているのに私だけ我慢できなくて恥ずかしい。

T8 何で我慢しなければいけないのですか。

C9 並んでいた人は自分より前から待っているから先に行ってはだめだと思った。

T9 なるほど。自分はどの意見に近いですか。

C10 後ろの人が座れなくなるから先に行ってはだめだったな。人のことを忘れて先頭に行ってしまったから戻されたんだ。

C11 お母さんも座りたかったのに我慢しているんじゃないか。

C12 いやいや。そうじゃなくて、お母さんも自分の親に順番を守ることを教えてもらったから自分の娘に教えようと思って立っていたんだ。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類：